

番号	2-2-6	表題	低負荷施設における水質改善への取り組み	
内 容	<p>新河岸水再生センターでは、水質改善と省エネルギーの両立のため反応タンクの再構築により段階的高度処理（疑似嫌気好気活性汚泥法）を導入している。これまでに北系反応タンクの整備を終え、令和3年度から南系反応タンクに着手している。しかしながら、当センターでは流入水のBODが比較的低いため、窒素とリンの除去率が他のセンターに比べて低い。また、流入水に硝酸性窒素がしばしば検出され、リンの除去には厳しい状況である。このため、放流水の窒素とリン濃度の低減を目的に、DO設定値の変更・MLSS濃度の上昇・反応タンクへの負荷量の増大などを試み効果を検証した。</p> <p>本報は、低負荷施設での水質改善への取り組み状況についてまとめたものである。</p>			
キーワード	低負荷、硝酸性窒素、窒素除去、リン除去			
処理区名	新河岸処理区	位置区分	水再生センター	
職種区分	環境検査	施策区分	高度処理、温室効果ガス削減対策	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和3年度	全体期間	令和3年度～令和4年度	
担当部署	西部第二下水道事務所 新河岸水再生センター			
発 表 履 歴	局内	令和3年度 水質技術研究発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				